

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ガイダンス	1	<ul style="list-style-type: none"> 生活を見つめ、自立しともに支え合う生活に向かって、家庭分野の学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 		<ul style="list-style-type: none"> 3年間の家庭分野の授業で自分が身につけたいことや、知りたいことについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
自分の成長と家族・家庭生活	2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長と家族や地域の人々とのかかわりと、自分自身について理解する。 家族・家庭の機能及びそれを支える仕事や社会のしくみについて理解し、家族関係について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭には様々な活動があることと、家庭の主な機能について理解している。 自分や家族の生活は、家庭の内外の活動によって支えられていることを理解している。 家庭生活を支える活動とそれを支える社会の仕事やしくみの学習をとおして、家庭生活と社会のつながりを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族とのかかわりについて解決策を構想し、実践を評価・改善したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長は家族をはじめ、多くの人に支えられ、影響を受けてきたことについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。

<p>衣服のはたらきと手入れ</p>	<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらき がわかる。 ・衣服に用いられている繊維の 種類と特徴を理解する。 ・衣服についての汚れの種類が わかり、適切な手入れについて 理解する。 ・取扱い表示の意味を理解し、 適切な手入れの方法がわか る。 ・衣服の素材に合った洗剤とそ の適切な量について理解し、洗 濯機による洗濯ができる。 ・衣服の状況に応じた手入れの しかたを理解し、適切に行うこ とができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらき について理解している。 ・布が糸で織られていることに 気付くとともに、その織り方 にはいろいろな種類と特徴があ ることを理解している。 ・衣服につく汚れやしみの種類 と性質について理解していると ともに、衣服の材料や汚れ方 に応じた方法で日常着の手入 れが適切にできる。 ・洗濯機の安全で適切な使い方 について理解している。 ・洗濯の方法を理解していると ともに、適切にできる。 ・ほころび直し、まつり縫い、 スナップ付けを理解していると ともに、適切に実践できる。 ・アイロンの使い方について理 解しているとともに、適切に設 定し、安全に使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の状況に応じた手入れの しかたについて問題を見いだ して課題を設定している。 ・衣服を収納・保管する方法に ついて考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらき について、課題解決に主体的 に取り組もうとしている。 ・衣服の社会生活上のはたらき について工夫し創造し、実践 しようとしている。 ・日常着の手入れや補修につ いて、工夫し創造し、実践し ようとしている。 ・補修実習について工夫し創 造し、実践しようとしている。
<p>衣服の選択と着方</p>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮した衣服の 入手と処分について考え、衣服 の計画的な活用について理解 する。 ・既製服を選ぶポイントが分か る。 ・自分らしい着方を工夫するこ とができる。 ・和服の文化に関心をもち和服 の着方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用の重要 性について、理解している。 ・既製服のサイズや表示の種 類と意味について理解してい る。 ・和服の着方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・T.P.Oに応じた着用や個性を 生かす着用について問題を見 い出して課題を設定している。 ・衣服の着方や選択について 実践を評価したり、改善したり している。 ・衣服の着方や選択について の課題解決に向けた一連の活 動について、考察したことを論 理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮し、持続可 能な衣生活について工夫し創 造し、実践しようとしている。 ・自分らしい色やデザインを選 択しようしたり、友達の意見を 聞いたりして課題解決に主体 的に取り組もうとしている。 ・和服の着装体験について工 夫し創造し、実践しようしてい る。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎中学校

<p>布を用いた作品で生活を演出</p>	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ・製作の手順と要点を調べ、必要な用具と完成までの流れを理解できる。 ・製作に必要な材料や縫い方、用具の安全な使い方の理解を図り、その技能を身に付けるようにする。 ・製作の基礎・基本の習得に主体的に取り組み、よりよい製作を実践しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作するものを決め、デザインを含めた製作計画を立てることについて理解しているとともに政策が適切にできる。 ・ミシンの使い方について理解しているとともに適切に扱うことができる。 ・ミシン縫いや手縫いの特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作計画について問題を見いだして課題を設定している。 ・製作計画について考え、工夫している。 ・製作について実践を評価したり、改善したりしている。 ・製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に関心をもち、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・製作について工夫し創造し、実践しようとしている。
<p>持続可能な衣生活</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮する視点から問題を見いだして課題を設定し、解決策について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に主体的に取り組んだり、生活を工夫し創造し、実践しようとしたりしている。
<p>人間にとっての住まい</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ごととして住まいをとらえ、住まいは生活を支えていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割には、機能的な面と精神的な面があることを理解している。 ・住まいは人々のさまざまな行動を支えていることを理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・住まいを自分ごととしてとらえ、住まいに関しての課題解決に主体的に取り組もうとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎中学校

生活に必要な住空間	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の住まい方や空間の使い方を理解する。 ・自身の住まい方の工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間とのかわりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいに必要な空間の使い方について問題を見いだして課題を設定している。 ・住まいに必要な空間の使い方について考え、工夫している。 ・住まいに必要な空間の使い方について実践を評価したり、改善したりしている。 	
自然とともにある住生活	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の住まいの希望を生かし、住空間の使い方を考えて工夫することができる。 ・住まいや住まい方は、気候風土や文化など地域の特性や生活を反映していることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族がどのような生活を重視するのかによって、住空間の使い方が異なることを理解している。 ・住まいや住まい方は、気候風土に合わせて、自然のよさを取り入れたりして工夫されていることを理解している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・家族が心地よく住むための工夫について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族が心地よく住むための工夫について工夫し創造し、実践しようとしている。
安全で健康的な住生活	4	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の種類と、その原因を知り、幼児や高齢者にとっての安全な住まい方を考える。 ・健康に住まうために、室内環境の調節方法を理解する。 ・自然災害に備えて、住まいを安全に整備する必要とその方法について理解する。 ・地域のさまざまな災害に備えて、わたしたちの防災について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の事故の種類やその要因と対策としての安全管理の方法について理解している。 ・安全な室内環境の整え方について理解している。 ・自然災害に備えて、住まいを安全に整備する必要とその方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で健康な住生活について、問題を見いだして課題を設定している。 ・安全で健康な住生活について考え、工夫している。 ・安全で健康な住生活について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・安全で健康な住生活についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で健康な住生活について主体的に取り組もうとしている。 ・安全で健康な住生活について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。

令和7年度 評価規準

学校名：江戸川区立篠崎中学校

持続可能な住生活	1	・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。		・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	・社会や環境に配慮した住生活について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。
----------	---	---	--	--	--